

出典：滋賀県DOデータ（平成14年度～18年度）

図11.21 DOの鉛直分布

表11.8 琵琶湖における主要魚介類の選定結果

分類	主な魚介類	生活型	漁獲量上位種	保護水面対象種	産卵場・成育場が特定の「場」に依存する種。	選定結果	選定理由
サケ科	ビワマス		○				
コイ科	コイ	○	○		○	●	産卵場・成育場が水生植物帯に依存。
	ニゴロブナ	○	○	○	○	●	保護水面対象種。産卵場・成育場が水生植物帯に依存。
	ゲンゴロウブナ	○	○		○	●	産卵場・成育場が水生植物帯に依存。
	ウグイ		○				
	オイカワ						
	ホンモロコ	○	○	○	○	●	保護水面対象種。産卵は水生植物に依存。
	ワタカ	○			○		
	スゴモロコ	○	○		○	●	産卵は砂礫・礫石帯に依存。
	ハス		○				
	ニゴイ						
	カマツカ						
	ゼゼラ	○					
	モツゴ	○					
	ビワヒガイ	○				△	
	シロヒレタビラ	○				△	
	ヤリタナゴ	○				△	
カネヒラ	○				△		
ナマズ科	ナマズ	○					
	ギギ*	○			○		
ハゼ科	ヨシノボリ類(ゴリ**)	○	○		○	●	産卵は砂・礫・岩・岩礁帯に依存。
	イサザ	○	○		○	●	産卵は礫底上の石下面に依存(岩・岩礁帯)。
キュウリウオ科	アユ		○	○			
	ワカサギ		○				
テナガエビ科	スジエビ	○	○				
	テナガエビ	○					
イシガイ科	イケチョウガイ	○					
	カラスガイ	○					
シジミ科	セタシジミ	○	○		○	●	産卵場・成育場は砂礫・砂泥帯に依存。
タニシ科	ナガタニシ	○			○		
種類数		22	14	3	15	8	

生活型：主に琵琶湖内で産卵し稚子が生育する種。

漁獲量上位種：農林水産統計年報における漁獲量5年分(2001～2005年)を集計し、種名が明らかである上位種。

保護水面対象種：水産資源保護法に基づく保護水面の対象種(滋賀県水産課より入手)。

産卵場・成育場が特定の「場」に依存する種：琵琶湖内の沈水・抽水植物等水生植物帯、砂・礫・岩礁帯を産卵場・成育場として限定している種。

*△：イケチョウガイ・カラスガイ等二枚貝内に産卵する。当該貝類は概ね水深10m以浅の砂・泥域、沈水植物・抽水植物等の特定域内に生息する。

*：ギギは一般的に河川中流域の石下面で産卵するが、琵琶湖では湖岸の砂・礫で産卵する。

**：琵琶湖には回遊性のトウヨシノボリと止水性のビワヨシノボリの2種のヨシノボリ類が生息し、トウヨシノボリの稚魚とビワヨシノボリを区別せず「ゴリ」として漁獲されている。

表11.9 琵琶湖における主要魚介類の生態特性

主要魚介類	卵形態	水深	産卵場	主な分布状態		幼稚仔魚の分布域(底質環境)																
				卵	仔魚・稚魚期	抽水植物	沈水植物	流れ藻・浮き草	二枚貝	岩・石	砂礫	砂	泥	その他								
コイ	沈性粘着卵 産卵期:4月~7月 稚魚期:春期~夏期	表層	湖岸・入江・緩流域の抽水植物・沈水植物等	水草等に粘着(付着)	水生植物帯(0.5m以浅)	水生植物帯(0.5m以浅)																
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
ニゴロブナ	粘着卵 産卵期:4月~6月 稚魚期:春期~夏期	表層	湖岸・入江・緩流域の抽水植物・沈水植物等	水生植物帯に粘着(付着)	水生植物帯(0.5m以浅)	水生植物帯(0.5m以浅)																
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
ゲンゴロウブナ	粘着卵 産卵期:4月~6月 稚魚期:春期~夏期	表層	湖岸・入江・緩流域の抽水植物・沈水植物等	水草等に粘着(付着)	水生植物帯(0.5m以浅)	水生植物帯(0.5m以浅)																
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
ホンモロコ	粘着卵 産卵期:3月~7月 稚魚期:春期~夏期	表層	湖岸・入江・緩流域の抽水植物・沈水植物等(水深0.3~3m)	水草等に粘着(付着)	水生植物帯(0.5m以浅)	水生植物帯(0.5m以浅)																
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
スゴモロコ	付着沈性卵 産卵期:5月~6月 稚魚期:春期~夏期	表層																				
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m													砂礫底(水深2~5m)	砂礫底	砂泥底					
		4.1-5.0m																				
ヨシノボリ類	付着卵 産卵期:5月~7月 稚魚期:春期~夏期	表層			浮遊生活(表層~中層)									浮遊生活(表層~中層)								
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m													砂・礫・岩・岩礫帯(水深5m以浅)	砂・礫・岩・岩礫帯(水深5m以浅)						
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
イサザ	付着卵 産卵期:4月~6月 稚魚期:春期~夏期	表層	礫底上の石下面(水深9m以浅)	岩・岩礫帯	浮遊生活(表水層:水温確層より浅い水深)									浮遊生活(表水層:水温確層より浅い水深)								
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m																				
		4.1-5.0m																				
セタジミ	沈性卵 産卵期:5月~7月 稚魚期:春期~夏期	表層																				
		表層下-1m																				
		1.1-2.0m																				
		2.1-3.0m																				
		3.1-4.0m													砂礫・砂泥底(水深2~8m)	砂礫・砂泥底	砂礫・砂泥底					
		4.1-5.0m																				

出典: びわ湖内湾の水生植物帯における仔稚魚の生態 I 仔稚魚の生活場所について (平井賢一, 1970)
 内水面漁場環境・利用実態調査報告書 魚のすみよい川への設計指針(案) (全国内水面漁業協同組合連合会, 昭和62年)
 平成18年度滋賀の水産(滋賀県農政水産部水産課, 平成18年6月)
 淡水生物の保全生態学「琵琶湖におけるコイ科魚類の初期生態(山本・遊磨)」(森誠一著編, 1999)
 日本のコイ科魚類(日本産コイ科魚類の生活史に関する研究)(中村守純, 1969)
 山溪カラー図鑑 日本の淡水魚(改訂版)(山と溪谷社, 2001)
 滋賀県水産試験場研究報告No49「琵琶湖におけるイサザ仔魚の分布の特徴(酒井明久ら, 2002)」
 滋賀県水産試験場研究報告No1「琵琶湖産イサザの増殖に関する研究(小林・山中, 1950)」

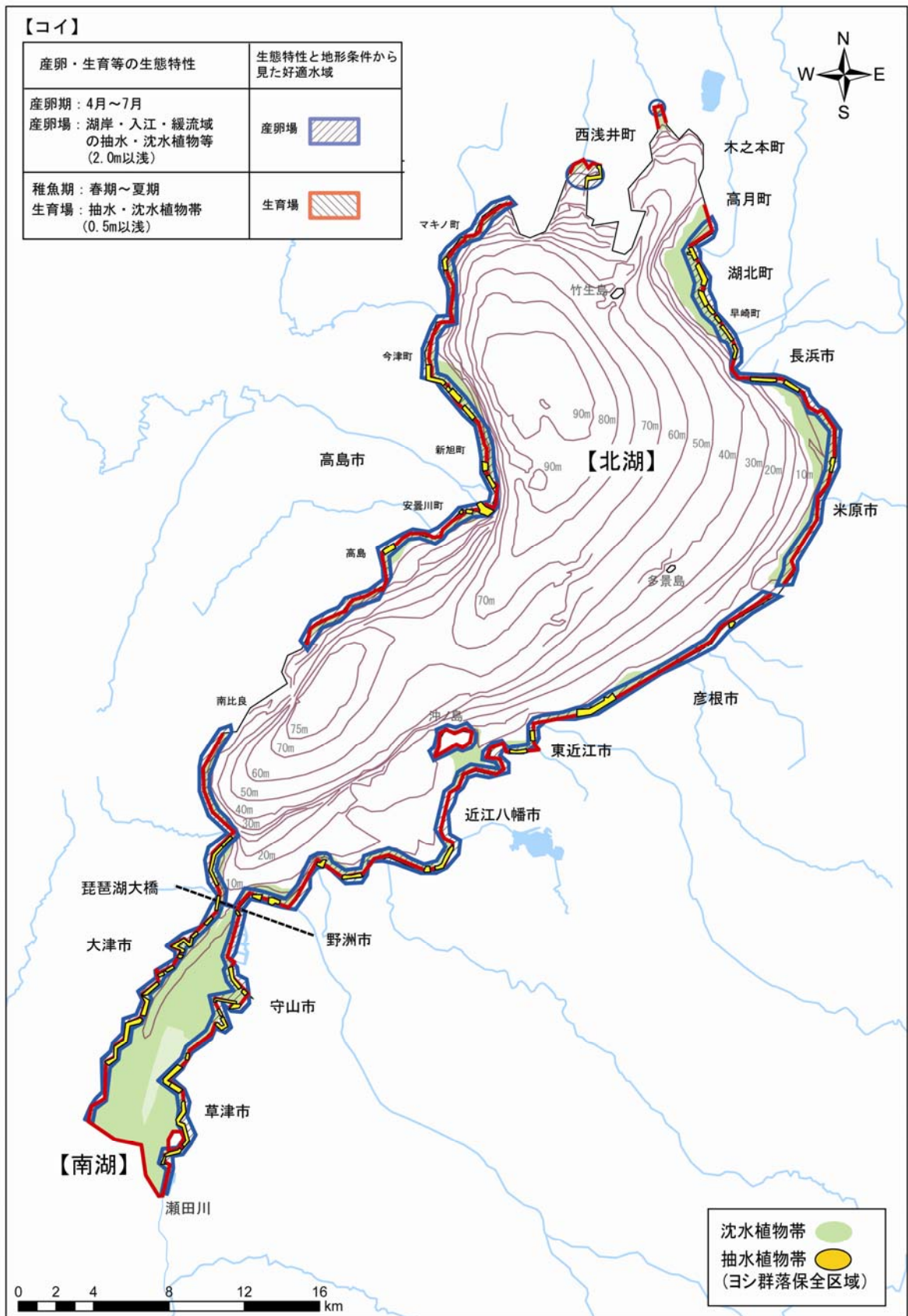


図11.22a 生態特性・地理条件・水質条件から見た好適な水域（コイ）

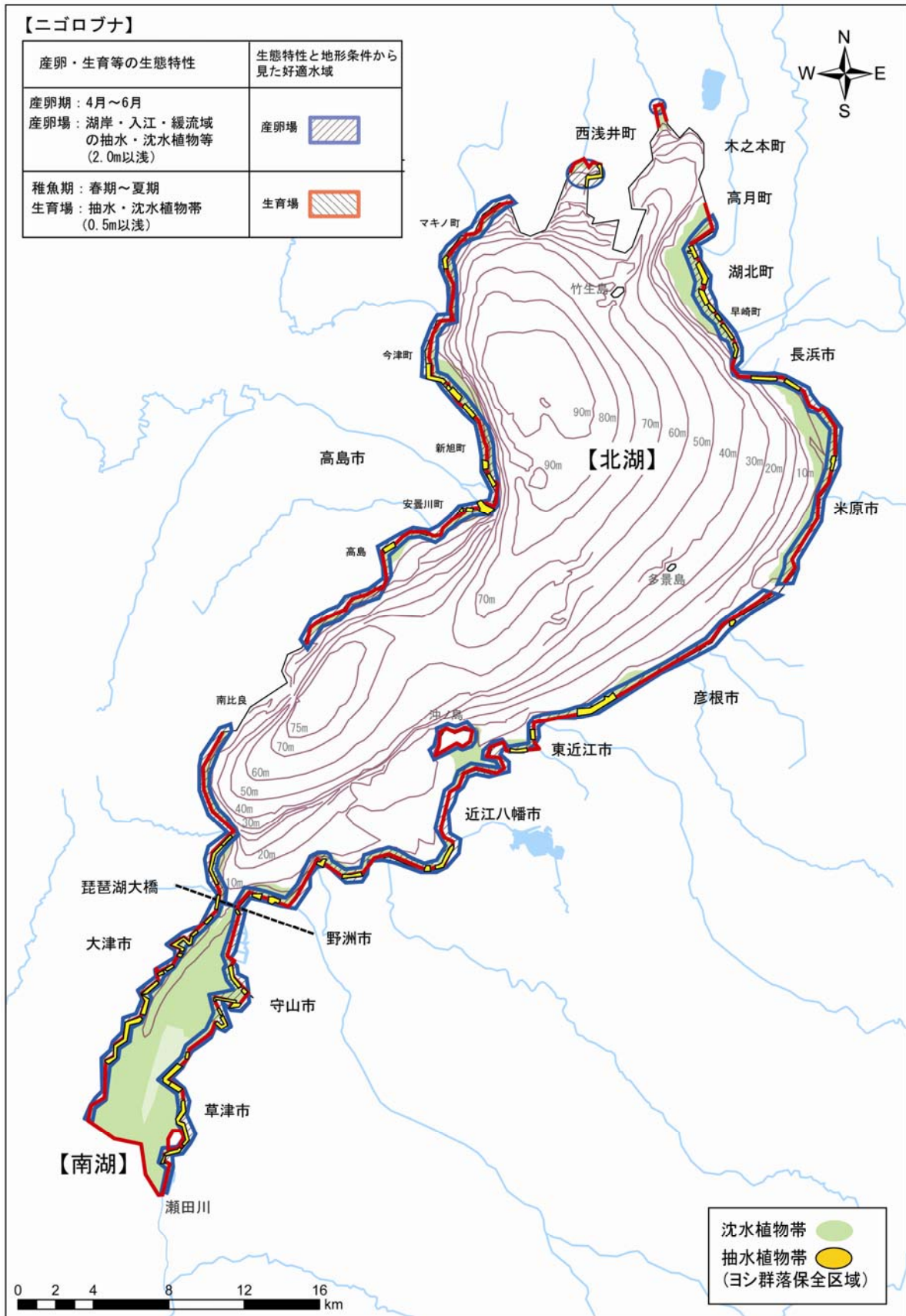


図11.22b 生態特性・地理条件・水質条件から見た好適な水域 (ニゴロブナ)

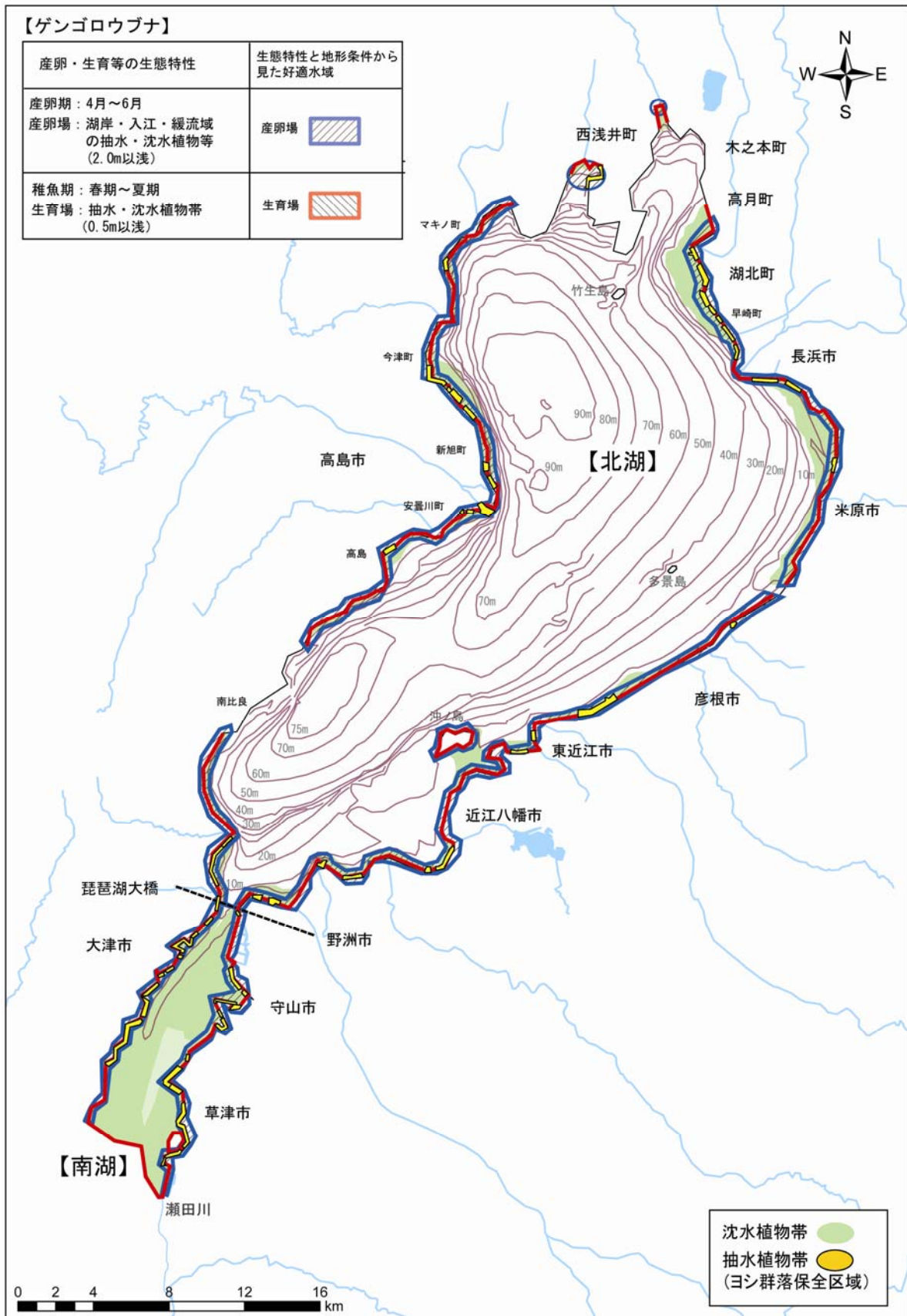


図11.22c 生態特性・地理条件・水質条件から見た好適な水域（ゲンゴロウブナ）

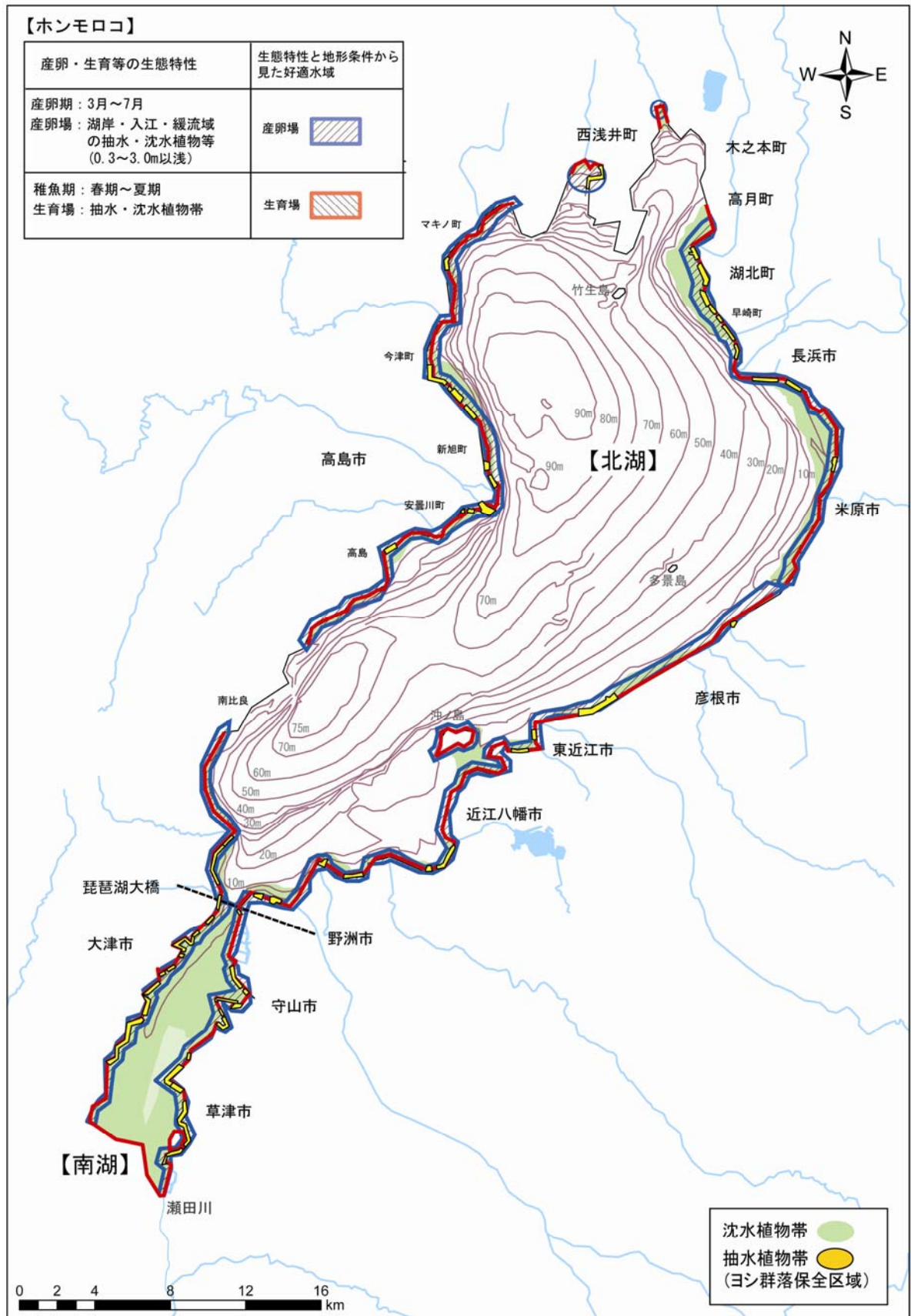


図11.22d 生態特性・地理条件・水質条件から見た好適な水域（ホンモロコ）

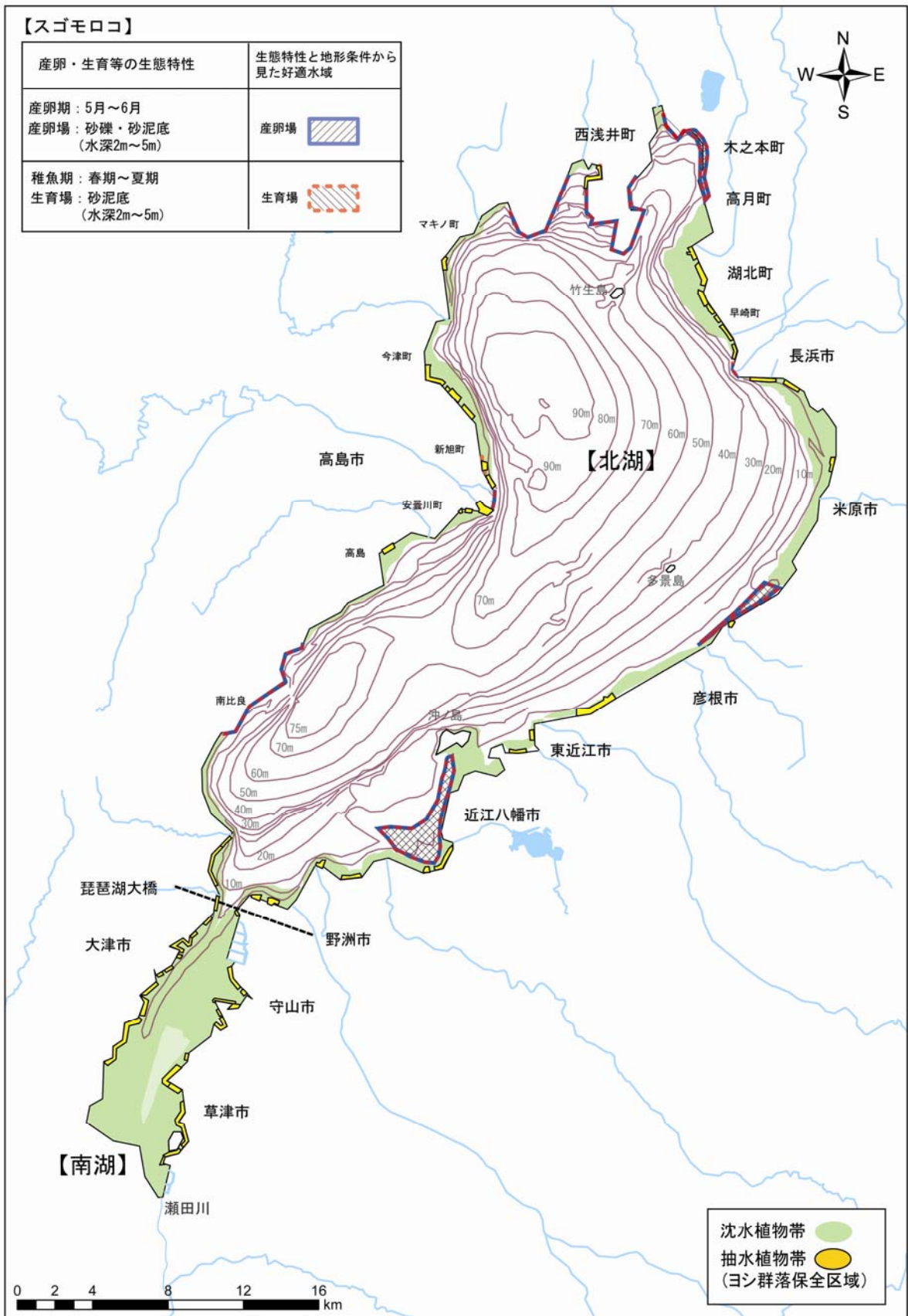


図11.22e 生態特性・地理条件・水質条件から見た好適な水域（スゴモロコ）

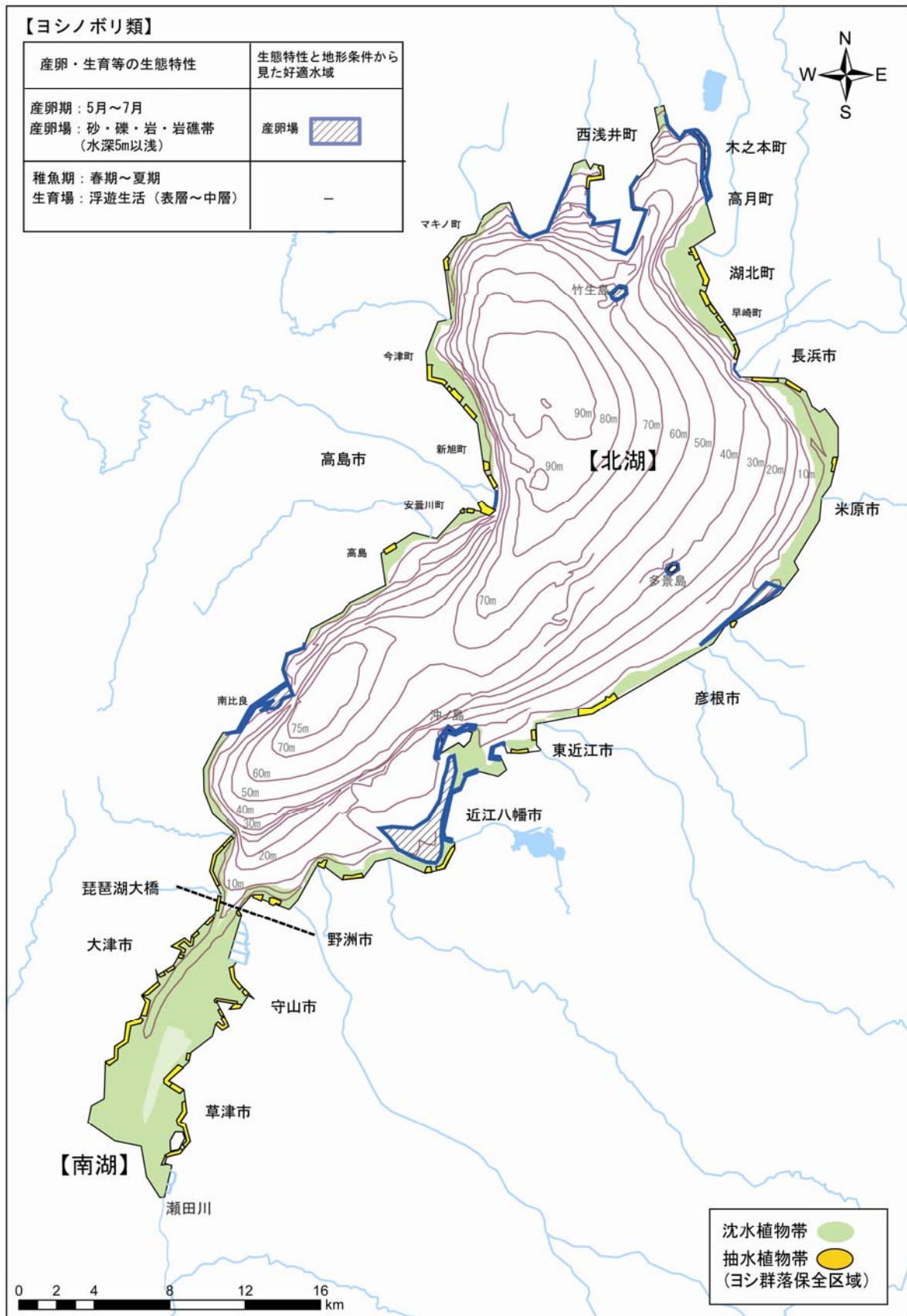


図11.22f 生態特性・地理条件・水質条件から見た好適な水域 (ヨシノボリ類)